

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
現代の国語	農業食品科 グリーン 環境科 社会福祉科・ 2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 高等学校 新編 現代の国語（第一学習社） <input type="checkbox"/> 副教材 五訂版 漢字検定対応 常用漢字オールクリア（尚文出版） <input type="checkbox"/> 副教材 常用漢字オールクリア 別冊徹底トレーニングノート（尚文出版）
-------------	--

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能をICTや辞書、補助教材を用いて身に付けるようにする。	協働的かつ対話的な活動をとおして論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	各種検定試験の受検や作文コンクールへの主体的な参加を促しながら言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>【表現力を支える知識を身に付けることができた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。 ・常用漢字を文や文章の中で活用している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。 ・敬語表現を理解し、相手や場に応じた表現が選択できる。 	<p>B 評価の規準</p> <p>【自ら考えたり想像したりしたことを表現し、伝えることができた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を身に付けている。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、話（文章）の構成や展開を工夫している。 	<p>B 評価の規準</p> <p>【主体的・意欲的に学習に取り組むことができた】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート等へ自分の考えを記入し、発表する。 ・友達の意見を聴き取り、ワークシート等に記入している。 ・ワークシート等を期限までに不備のない状態で提出する。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	新しい出会い「ナマケモノになる」 (辻信一)	4	・筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。
5	書いて伝える「書き方の基礎レッスン」	6	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。
6	書いて伝える「身近な製品の取扱説明書を作成する」	2	・情報を的確に説明する方法を理解する。 ・情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。 ・わかりやすい説明を実践できるようになる。
	言葉が開く世界「言語としてのピクトグラム」(本田弘之)	4	・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。
7	話して伝える「話し方の工夫」	5	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。
8		・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	
9	人間の風景「臆病な詩人、街へ出る」(文月悠光)	8	・他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とする。
10	話して伝える「待遇表現」	4	・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。
	話して伝える「論理的な表現」	4	・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・説得力を意識した表現のしかたについて理解する。
11	社会と人間『『弱いロボット』の誕生』(岡田美智男)	4	・「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。

12	生活の中の表現「法律の改正に関わる文章を読み比べる」	4	<ul style="list-style-type: none"> 改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。
1	現代と社会「イースター島になぜ森がないのか」(鷺谷いづみ)	7	<ul style="list-style-type: none"> イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。
2	話して伝える「スピーチで自分を伝える」	4	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。
3	書いて伝える「社会に対する意見文を書く」	3	<ul style="list-style-type: none"> 意見文とはどういうものを理解する。 自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
地理総合	農業食品科2年 グリーン環境科2年 社会福祉科2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 地理総合（東京書籍） <input type="checkbox"/> 地図帳 基本地図帳（二宮書店） <input type="checkbox"/> ノート 地理総合ワークノート（東京書籍）
------	--

科目の目標		
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを系統的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、ICTも活用しながら調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、協働的な学習をとおして地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>	<p>地理に関わる諸事情について、地域に関する学びや体験等を踏まえてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[知識]</p> <p>B 地理的事象に関する用語を知っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句や重要事項を答えたり、その内容を説明したりすることができる。 <p>A 地理的事象を概念として理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習ったことを一般化できる形に抽象化して整理したり説明することができる。 <hr/> <p>[技能]</p> <p>B 提示された資料から必要な情報を読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示された地図やその他の図表、グラフなどの資料から、必要な情報を読み取ることができる。 <p>A 適切な資料を選び、必要な情報を読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図やその他の図表、グラフなどから、適切な資料を選び、必要な情報を読み取ることができる。 	<p>[思考]</p> <p>B 習った地理的事象を他の事柄にあてはめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象化した既習事項と別の地理的事象との構造的な共通点を見出すことができる。 <p>A もとの事柄とあてはめた事柄とを比べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の事柄を、共通する構造で捉えて、さらなる共通点を推測したり自然や気候を含む様々な条件に起因する相違点などを挙げたりして整理することができる。 <hr/> <p>[判断]</p> <p>B 地理的事象に関する判断基準を把握できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その事柄に関する課題は何か、その課題に対して誰がどのような考え方を持っているかについて整理することができる。 <p>A 地理的事象について価値判断を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その事柄は、誰にとってどのような意味があるのか、それぞれの立場から説明できる。 <hr/> <p>[表現]</p> <p>B 地理的事象について自分の考えを述べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習った内容を比較したり価値判断を行ったりしたことをもとにして自分の考えを述べることができる。 <p>A 地理的事象についての自分の考えを、適切な方法で表すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章や地図、グラフ、その他の図表などを用いて、他者に効果的に伝えることができる。 	<p>[自己調整学習・粘り強い取り組み（学習方法）]</p> <p>B 学習の振り返りを行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの学び方を振り返り、改善しようとすることができる。 <p>A 振り返りをもとに、学習方法を継続的に改善することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの学び方を振り返り継続的に改善することができ、その成果が、「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点の成績にも表れている。 <hr/> <p>[自己調整学習・粘り強い取り組み（学習の深まり）]</p> <p>B 自分で問いを立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問に感じた点やさらに深めたい部分などを自分で見つけ、問いを立てることができる。 <p>A 自分とのつながりや地球的・地理的諸問題を意識した問いを立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的事象と自分や地球的・地理的諸問題とのつながりに興味を向けることができ、それらを深めるための問いを立てることができる。

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	球面上の世界	1	<ul style="list-style-type: none"> ・位置の基準～地球上の緯度と経度 ・時間の基準～時差と標準時
	日本の位置と領域	2	<ul style="list-style-type: none"> ・視点をえててみた日本の位置 ・国家とその領域 ・海に広がる日本の領域 ・日本の領域に関する問題
	国家や国家間の結びつき	2	<ul style="list-style-type: none"> ・国家間の結びつき ・交通・通信による結びつき ・交易・物流による結びつき ・観光による結びつき
5	暮らしのなかの地図と GIS	2	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの地図を集める ・主題図・グラフの見方 ・地理院地図の活用 ・GIS の仕組みと役割
	地形と生活文化	2	<ul style="list-style-type: none"> ・変動帯とプレート ・河川がつくる地形と生活 ・海岸の地形と生活
6	気候と生活文化	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大気の循環 ・気候の地域性 ・ケッペンの気候区分 ・熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯の自然環境と生活
	産業と生活文化	1	<ul style="list-style-type: none"> ・農業・工業・サービスの発展と生活文化
	宗教・言語と生活文化	2	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教と言語の分布と生活文化 ・移民と難民 ・生活文化の多様性
7	経済発展と生活文化の変化 ～東アジア	3	<ul style="list-style-type: none"> ・経済発展を支える自然・農業と生活文化 ・市場経済化と生活文化の変化～中国 ・輸出による発展と生活文化の変化～韓国 ・経済発展による変化と課題
	日本の位置と領域	2	<ul style="list-style-type: none"> ・視点をえててみた日本の位置 ・国家とその領域 ・海に広がる日本の領域 ・日本の領域に関する問題
8	水の恵みと生活文化 ～南アジア	2	<ul style="list-style-type: none"> ・河川による恵みと生活文化 ・水の恵みによる発展と課題

9	イスラーム社会の多様性と生活文化 ～イスラーム圏	3	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥地域とイスラームの社会 ・経済発展とイスラーム社会の変化 ・イスラーム圏の現状と課題
	多様な気候と生活文化 ～アフリカ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な自然環境と生活文化 ・経済成長と自然環境の変化による課題
10	経済統合による生活文化の変化 ～EU と周辺諸国	3	<ul style="list-style-type: none"> ・経済発展の礎となった自然環境と農業 ・産業・交通の発達による一体化 ・統合を進める背景と言語・宗教の多様性 ・経済統合と政治統合の進展と課題
	寒冷な気候と生活文化 ～ロシア	2	<ul style="list-style-type: none"> ・寒冷な気候と生活・産業 ・寒冷地域の開発による成長と課題
11	グローバル化による生活文化の変化 ～アメリカ・カナダ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・経済発展の基盤となった社会の多様性 ・大規模な農業とグローバルな食文化 ・グローバル化による変化と課題
	土地の開発による生活文化の形成 ～ラテンアメリカ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・開発による農牧業の発展と生活文化 ・開発による発展と社会にみられる課題
12	植民と移民による生活文化 ～オセアニア	2	<ul style="list-style-type: none"> ・植民による開発と生活文化 ・移民と多文化社会にみられる課題
	各地域の生活文化を比較してみよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の生活文化を比較してみよう
	地球環境問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題と持続可能な社会 ・国境を超える汚染 ・森林減少・砂漠化とその対策 ・気候変動とその対策
1	資源・エネルギー問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・鉱物資源・エネルギー資源とその課題 ・資源のリサイクル・再生可能エネルギー
	人口・食糧問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人口と人口問題 ・世界各地の人口問題 ・二つの食糧問題 ・食糧問題の背景と解決策～サブサハラ
	「誰も置き去りにしない世界」を考 える	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰も置き去りにしない世界」を考える
2	日本の自然災害と防災	5	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地図でとらえる自然災害のリスク ・世界からみた日本の地形の特色、世界か らみた日本の気候の特色 ・風水害と防災 ・火山の噴火と防災 ・地震・津波と防災 ・都市型災害と防災 ・防災への心構え～自助・共助・公助～
3	地図を防災・避難行動に役立てよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を防災・避難行動に役立てよう

	生活圏の諸課題と地域調査	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地理の力で地域の課題を解決しよう ・主題図からみた日本の特徴と課題 ・地域調査① 事例地域の選定～事前調査 ・地域調査② 現地調査～調査地図の作成 ・地域調査③ 他地域との比較～まとめ
	・地域調査の結果を発表しよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域調査の結果を発表しよう

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
数学A	農業食品科 2年 グリーン環境科 2年 社会福祉科 2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新高校の数学A (数研出版) <input type="checkbox"/> 問題集 ポイントノート数学A (数研出版)
-------------	---

科目の目標		
<p>(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>集合と命題について理解し、基本的な知識を身に付けている。</p> <p>和の法則、積の法則、そして順列・組合せの考えを理解して、場合の数を求め、それから確率を求めるための知識を身に付けている。具体的な事象の起こりうる場合の数を順列や組合せの考えを用いて表現し、確率の基本性質を活用して、その確率を求めることができる。</p> <p>図形の性質を系統的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。図形の性質が論理的に正しいことを的確に表現するこ</p>	<p>集合の関係を図を用いて考察することができる。</p> <p>順列・組合せなどの場合の数の求め方を身に付け、具体的な事象の確率を考察することができる。</p> <p>図形の見方を豊かにするとともに、図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。</p> <p>人間の活動について、整数の性質で学んできたことをもとに考察しようとする。</p>	<p>集合に関心を持つとともに、その有用性を認識し、それらを問題の解決に活用しようとする。</p> <p>不確定な事象を数学的に捉えることの有用性を認識し、具体的な事象の考察に活用しようとする。</p> <p>三角形や円など図形の性質に関心を持つとともに、それらの有用性を認識し、問題の解決に活用しようとする。</p> <p>人間の活動を理解するために、数学を活用しようとする。</p>

とができる。 整数に関する概念などと人間の活動の関わりについて、数学的な見方で理解することができる。		
---	--	--

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・学習内容を暗記するのではなく、図形や文字などから概念として理解できる。 ・練習問題などの演習に自ら取り組み、立式から計算まで完結して解答できる。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・発展的な問題にも学習した知識を組み合わせ、論理的に考察して解法を表現できる。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・課題に計画的に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、短期・中期の課題を解決していくことができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	場合の数と確率	3	・集合の要素の個数 ・場合の数
5	場合の数と確率	5	・順列 ・組合せ
6	場合の数と確率	7	・いろいろな順列 ・事象と確率
7	場合の数と確率	8	・確率の基本性質 ・独立な試行
8	場合の数と確率	2	・反復試行
9	場合の数と確率	5	・条件付き確率 ・期待値
10	図形の性質	5	・直線と角

11	図形の性質	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形の重心・外心・内心・垂心 ・ チェバの定理とメネラウスの定理
12	図形の性質	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円周角 ・ 円と直線 ・ 2つの円の位置関係
1	図形の性質	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平面と直線 ・ 多面体
2	数学と人間の活動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユークリッドの互除法
3	数学と人間の活動	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 倍数の判定 ・ 位取り記数法と n 進法

令和7年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
生物基礎	農業食品科、 グリーン環境科2年 社会福祉科3年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 i版 生物基礎（啓林館）
------	---

科目の目標		
<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>日常生活や社会との関連を計りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</p>	<p>生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育う。</p>	<p>生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養うことが重要である。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・学習活動に真剣に取り組 み、確認テスト等で振り返 ることができている。 ・観察及び実験の方法を正し く理解し、結果をまとめるこ とができる。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説 明できた] ・学習活動に真剣に取り組 み、仲間と協力して考え、提 案や発表ができる。 ・観察及び実験に仲間と協 力して取り組み、自分や班 の考えを記述できている。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、内容も学 習内容に沿っている。 [自分なりの工夫] ・教師の説明をメモしたり、自分なり のまとめをしたりするなど、独自の工 夫及び記述がある。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に 迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主 に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時 数	学習項目
4	生物の特徴	6	生物の共通性と多様性
5		7	生物とエネルギー
6	遺伝子とその働き	7	遺伝情報とDNA
7		8	遺伝情報とタンパク質の合成
8			
9	神経系と内分泌系による調節	5	情報の伝達
10		7	体内環境の維持の仕組み
11	免疫	8	免疫の働き
12	植生と遷移	8	植生と遷移
1	生態系とその保全	5	生態系と生物の多様性
2		5	生態系のバランスと保全
3		2	生態系のバランスと保全

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
体育	2年 AGW 科	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
-------------	--

科目の目標		
体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して技術の名称や実践、ルールやマナーを理解しようとしている。 ・課題解決法、練習法、試合法を理解しようとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時の振り返りシートに反省を記入し、自己評価をしようとしている。 ・互いに助け合い、教えあい、高め合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の声出し、活動時の周囲への声掛け、準備・片付けを積極的に行おうとしている。 ・活動の目的を理解し、実践しようとしている。 ・他者と協力して周囲に配慮をしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテスト、体育理論で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	6 3	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	球技（選択①）	8	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
6	球技（選択①）	6	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
7	球技（選択②） 体育理論	6 2	スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術 技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保
8	球技（選択②）	2	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
9	球技（選択②） 球技（選択③） 体育理論	4 4 2	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール

			スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術 技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保
10	球技（選択③） 体育理論	8 2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術 技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保
11	陸上競技（長距離走）	6	20分間走・4キロ走
12	陸上競技（長距離走）	7	20分間走・4キロ走
1	ダンス 体づくり運動	6 2	現代的なリズムのダンス 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画
2	ダンス 体づくり運動	6 2	現代的なリズムのダンス 体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画
3	ダンス	4	現代的なリズムのダンス

令和6年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
保健	2年 AGW 科	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
-------------	--

科目の目標		
保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 ・単元テストの内容を理解しようとしている。	B 評価の規準 ・単元の内容を理解し、文章表現しようとしている。 ・グループワークでの話し合いにより、単元の学びを深めようとしている。 ・発表の内容を分かりやすく説明したりスライドにまとめたりしようとしている。	B 評価の規準 ・互いに協力して教え合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ライフステージと健康	1	講義、単元テスト
5	思春期と健康	1	講義、単元テスト
6	性意識と性行動の選択	1	講義、単元テスト
7	妊娠・出産と健康	1	講義、単元テスト
	避妊法と人工妊娠中絶	1	講義、単元テスト
	結婚生活と健康 中高年期と健康	3	調べ学習（グループワーク）
		1	クラス別発表（グループ）
8	働くことと健康	1	講義、単元テスト
9	労働災害と健康	1	講義、単元テスト
10	健康的な職業生活	1	講義、単元テスト
11	大気汚染と健康	2	調べ学習（グループワーク）
12	水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備		

1	さまざまな保健活動や社会的対策	1	クラス別発表（グループ） 1 講義、単元テスト
2	健康に関する環境づくりと社会参加	1	講義、単元テスト
3	<ul style="list-style-type: none"> 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 	2	講義、単元テスト
	<ul style="list-style-type: none"> 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 	3	調べ学習（グループワーク）
		1	クラス別発表・学年発表（グループ）

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
音楽Ⅱ	普通科S類型、農業食品科、グリーン環境科2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 MOUSA I (教育芸術社) <input type="checkbox"/> 高校生の歌集 つどい
-------------	---

科目の目標		
音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。	B 評価の規準 [自ら表現意図を持っている] ・自己のイメージをもって歌唱、器楽表現ができている。	B 評価の規準 [主体的・協働的] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、発表ができる。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、実技試験で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	【歌唱】 曲種に応じた発声の方法や個性豊かな表現について学び、歌おう。	6	Alleluja 「ヴォイス・トレーニング」 糸 浜辺の歌 からたちの花
5 6	【器楽】 ギターの弾き歌いをしよう	10	Kaimana Hila Happy Birthday to you 天体観測

6	【鑑賞】	8	映画を彩る音楽
7	映画音楽 実技試験		映画「ハリーポッターと賢者の石」
8	【歌唱】【鑑賞】	8	歌唱：The Phantom of the Opera
9	ミュージカル・ナンバーを歌おう		鑑賞：ミュージカル《オペラ座の怪人》
10	【器楽・創作】	8	基本奏法を身に付ける
11	和楽器（箏）に親しみ，演奏と創作 活動に挑戦。		音階練習 さくら オリジナルさくら変奏曲
11	【歌唱】	8	菩提樹/フニクリフニクラ
12	さまざまな歌唱表現Ⅱ		Nel cor piu mi sento
	【器楽】		愛のロマンス
	ギター独奏や弾き歌い 実技試験		
1	【歌唱】	8	歌唱：赤とんぼ/上を向いて歩こう
2	曲の特徴やパートの役割を理解しながらボイスアンサンブルをしよう。		鑑賞：オペラ《リゴレット》 オペラ《トゥーランドット》
	【鑑賞】		
	オペラ・アリア、作曲者について学び鑑賞しよう。		
3	【鑑賞】	4	歌舞伎《京鹿子娘道成寺》
	日本の伝統音楽について学び楽曲を鑑賞しよう。		薩摩琵琶《川中島》
	1年間のまとめ		

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
美術Ⅱ	農業食品科、グリーン環境科・2年	2	

使用教材	□美術2（光村図書）
------	------------

科目の目標		
美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
33%	33%	34%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・題材に関する知識を学び取るっている。 ・題材を表現するための道具を扱う技術、技法を理解している。 ・美術作品の良さ、作家の表現の意図や工夫を学び取ろうとしている。	B評価の規準 [よく考え、考えをまとめ、表現できた] ・題材の特徴を捉え、主題を考え、構想している。 ・構想をもとに素材の特性を理解しながら表現しようとしている。	B評価の規準 [粘り強さ] [自分なりの工夫] ・学習活動に真剣に取り組んでいる。 ・構想をもとに自分なりの表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。 ・他者の作品の良さを感じ、学び取ろうとしている。 ※作品の未提出や私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価になります。
※定期考査なし。授業態度、作品制作、提出物で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・年間の目標や美術の領域を理解する
5	「写真の単純化」 ～ポスタリゼーション～	14	・ポスタリゼーションを用いた美術作品の鑑賞 ・アクリル絵の具の特性と扱い方 ・平塗り技法の知識と習得 ・ポスタリゼーションに適切な写真の選定と効果的な構図の設定 ・色面のグラデーションに合わせた色作りと着色について ・相互鑑賞
6			

7	「採集するように撮影する」 ・シリーズ写真撮影、編集	5	<ul style="list-style-type: none"> ・写真家ベルント・ベッヒャー、ヒラ・ベッヒャーの作品鑑賞を通してシリーズ写真の表現意図や面白さについて学ぶ ・写真撮影の基本の知識や技術について学ぶ ・写真撮影 ・写真の編集方法を学び、ポートフォリオにまとめる ○相互鑑賞
8			
9	「住まいをデザインする」 ～住んでみたい家の庭のデザインする～	14	<ul style="list-style-type: none"> ・建築家 隈研吾の建築の鑑賞を通して建築のもつ魅力や建築家の意図や工夫について学ぶ ・日本の伝統的な庭を鑑賞し日本庭園の特徴を学ぶ ・住んでみたい家の庭のデザイン画を描く ・デザイン画をもとにジオラマを制作する ・相互鑑賞
10	・庭のデザイン画とジオラマの制作		
11	・デザイン画とジオラマをもとに自分の住んでみたい家の庭をプレゼンテーションする		
12	「日本美術史」	6	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から現代までの日本美術の特徴を学び、日本美術が持つ、時代性、民族性、風土、宗教など他国の美術との相違点や共通点について考えや見方、感じ方を深める
1	「素材と向き合う」 ～ダンボールの靴～	16	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールで作った靴の参考作品を見てイメージを掴む ・自分の履いている靴や市販の靴の画像などを調べ、構造やデザインについての工夫を分析する ・履いてみたい靴のデザイン画を構造も考えながら描く ・素材の特性や表面に描かれた印刷物を活用しながら靴を制作する ・相互鑑賞
2	・ダンボールを用いた靴の制作		
3			

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
書道Ⅱ	普通科S類型、農業食品科、グリーン環境科・2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 書Ⅱ(光村図書)
------	-----------------------------------

科目の目標		
<p>書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようになる。</p>	<p>主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。 ・単元に関する知識を学び取っている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[よく考え、意見を持ち、説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用筆、運筆、字形を構想し工夫し、相手に伝えることができている。 ・全体の調和や目的に則した表現形式など、意図に基づいて構想・工夫し、相手に伝えることができている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[主体的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書の学習を通して自らの創造的な力を高めようとしている。自らの感性を高め、書の伝統と文化に親しもうとしている。 <p>[粘り強さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現を模索し、工夫しながら取り組んでいる。
<p>※定期考査は実施しません。</p> <p>提出された作品やワークシート、授業態度で評価します。</p>		<p>※作品やワークシートの未提出、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人は C 評価となります。</p>
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	オリエンテーション	1	・書道Ⅱの1年間の学びを知る。
	【漢字の書】 篆書の学習	2	・篆書の成立 ・篆書の特徴
5	篆書の臨書 ・「泰山刻石」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「泰山刻石」の学習と臨書 字形は、おおむね縦長で左右相称 横画は水平、縦画は垂直 転折は丸く滑らか 起筆は蔵鋒 送筆は中鋒で線の太さは均一 ・篆書での創作

6	<p>隸書の学習</p> <p>隸書の臨書</p> <p>・「乙瑛碑」</p>	7	<ul style="list-style-type: none"> ・隸書の成立 ・隸書の特徴 ・「乙瑛碑」の学習と臨書 字形はおおむね扁平 横画は水平で等間隔 起筆は藏鋒 送筆は中鋒 波磔がある ・隸書での創作
7	<p>【篆刻】</p> <p>篆刻の学習</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻について ・印稿を考える ・刻す ・押印 ・鑑賞
8			
9			
10	<p>【漢字仮名交じりの書】</p> <p>漢字仮名交じりの書の創作</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・片仮名での表現等を用いた自由創作 ・風景を書で表現する。 ・タブレットを使用した作品制作
11			
12	<p>【漢字の書】</p> <p>漢字創作の学習</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・既習古典をもとにした漢字作品の創作 ・半切2分の1を使用した作品制作
1			
2	<p>【実用書式】</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日常に生きる書表現 身近にある筆で書かれたものを探し、書文化に親しむ ・日常筆記 履歴書 手紙
3			

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
英語コミュニケーションⅡ	農業食品科 グリーン環境科 社会福祉科 2年	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> VISTA English Communication II (三省堂)
-------------	---

科目の目標		
<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの Lesson において、新しく学習する文法事項や、これまで学習した文法事項の表現に注意しながら、内容を理解する技能を身に付けている。 ・文章の趣旨を考えながら、その内容について詳しく話して伝える技能を身に付けている。 ・文章の内容について基本的な語句や文を用いて、詳しく書いたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章についての概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。 ・文章の趣旨を考えながら、その内容について詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・文章の内容について基本的な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章についての概要や要点、必要な情報を、主体的に聞き取って捉えようとしている。 ・理解を深めるために、文章の趣旨を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ・文章の趣旨を考えながら、その内容について主体的に詳しく話して伝えようとしている。 ・文章の内容について基本的な語句や文を用いて、主体的に詳しく書いて伝えようとしている。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [文法理解] ・文法について理解しており、プリントやノート等に適切にまとめている。 [話すこと、書くこと] ・本文の内容について、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり、書いたりして伝える技能を身につけている。	B 評価の規準 [話すこと] ・本文の内容について、情報や考え、気持ち等を論理的に伝えたり、話したりしている。 [書くこと] ・本文の内容について、情報や考え、気持ち等を論理的に書いて伝えている。	B 評価の規準 [書くこと] ・本文の内容について、話し手に配慮しながら、主体的に話を聞き、聞いた内容をプリントやノート等に適切にまとめている。 [読むこと、話すこと] ・本文の内容について、聞き手に配慮しながら、主体的に書かれていることについて読んだり、話したりしている（発音練習、発表などが含まれます）。
※「知識・技能」は、定期考査や単元テストで主に判断します。 ※「思考・判断・表現」は、定期考査やスピーキングテスト等で主に判断します。		※授業への不参加や授業中の居眠りが目立ったり、私語が多く周囲の学習の妨げになる場合はC評価となります。
成果や内容が特に顕著な場合は A評価 とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 ・ 5	授業オリエンテーション	1	・授業の進め方、学習方法についての説明 ・年間学習指導計画及び評価基準の説明
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ● ALTとのティームティーチングを実施（月に2～3時間程度） ● 個別にスピーキングテストを実施（年2回、1・3学期） </div>			
	Lesson 1 Section 1 メキシコのゲラゲツア祭り	3	・「ゲラゲツア祭り」に込められた願いを読み取る ・動詞＋目的語＋to 不定詞の文法構造・用法を理解する
	Section 2 ニュージーランドのパフォーマンズ、ハカ	3	・ラグビーの試合で行われる「ハカ」に込められた思いを読み取る ・疑問詞＋to 不定詞の文法構造・用法を理解する

	Section 3 世界最古の舞踊の一つ、インド舞踊	3	<ul style="list-style-type: none"> ・インド映画でダンスシーンが多く使われている理由を読み取る ・さまざまな伝統舞踊／映画について、意見や感想を交換する
	まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな伝統舞踊を紹介するテレビ番組について読んだ内容について、書いて要点をまとめたり、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う
6	Lesson 2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・cake がこの慣用句に使われている理由を読み取る ・疑問詞で始まる節の文法構造・用法を理解する
7	Section 1 慣用句 “a piece of cake” の表す意味		
	Section 2 慣用句 “a pie in the sky” の表す意味	3	<ul style="list-style-type: none"> ・pie や rice cake がこの慣用句に用いられている理由を読み取る ・if で始まる節の文法構造・用法を理解する
	Section 3 慣用句 “fight like cats and dogs” の表す意味	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウン先生が海や萌にどんなことを気づかせたかを読み取る ・英語と日本語の慣用句／動物について、意見を交換する
	まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・英語と日本語の慣用句についての対話について読んだ内容について、書いて要点をまとめたり、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う
7	表現活動	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自由英作文や発表を実施
8	Lesson 3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・エイミーはなぜクオッカを紹介したいと考えたのかを読み取る ・使役動詞の文法構造・用法を理解する
9	Section 1 オーストラリアに生息するクオッカの特徴		
10	Section 2 クオッカがロットネスト島に多く生息している理由	3	<ul style="list-style-type: none"> ・人間による開拓が生態系に及ぼす影響について読み取る ・知覚動詞の文法構造・用法を理解する
	Section 3 クオッカが世界一幸せな動物と言われる理由	3	<ul style="list-style-type: none"> ・クオッカに触ったりえさを与えたりすることが禁止されている理由を読み取る ・クオッカ／絶滅危惧種などについて、意見を交換する
	まとめ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・クオッカ／絶滅危惧種などについて読んだ内容について、書いて要点をまとめたり、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う

10	Lesson 4	3	・切手をデザインするのに、なぜ長い時間がかかるのかを読み取る
11	Section 1 切手デザイナーという仕事		・形式主語 it の文法構造・用法を理解する
	Section 2 東日本大震災の切手に込めた思い	3	・東日本大震災の切手のデザインが、玉木さんの印象に残っている理由を読み取る ・形式目的語 it の文法構造・用法を理解する
	Section 3 切手をデザインする仕事のやりがい	3	・日本だけでなく世界の人々が楽しめる切手とはどのようなものかを読み取る ・切手について、意見や感想を交換する
	まとめ	2	・切手／英語学習／切手についての発表へのコメントについてやりとりしたり、家事について感じていること／日本の切手についての紹介を書いて発表する
12	表現活動	3	・自由英作文や発表を実施
12	Lesson 5	3	・モン・サン・ミシェルが世界遺産に登録された経緯を読み取る
1	Section 1 人気の世界遺産、モン・サン・ミシェル		・現在完了進行形の文法構造・用法を理解する
	Section 2 モン・サン・ミシェルの建立の伝説と建立後の変化	3	・堤防道路の完成後、人々のモン・サン・ミシェルに対する印象について読み取る ・過去完了形、過去完了進行形の文法構造・用法を理解する
	Section 3 便利になって生じた問題とそれに対する方策	3	・モン・サン・ミシェルが人気の世界遺産になった陰にある人々の努力を読み取る ・モン・サン・ミシェルについて、意見や感想を交換する
	まとめ	2	・モン・サン・ミシェル／趣味／日本の世界遺産について、読んだり聞いたりした内容の要点をまとめたり、基本的な語句や文を用いて、自分の考えを書く
2	表現活動	3	・自由英作文や発表を実施
2	Lesson 6	3	・なぜ農家の減少と高齢化が生じているのかを読み取る
3	Section 1 日本の農業の課題とスマート農業		・現在完了形の受け身の文法構造・用法を理解する
	Section 2 スマート農業で活躍するロボット	3	・ロボットにしてもらいたい農作業は何かを読み取る ・助動詞＋受け身の文法構造・用法を理解する
	Section 3 ドローンなどの先進技術による将来の展望	3	・技術の進歩によって、社会がどのように変化するかを読み取る

			<ul style="list-style-type: none">・さまざまな伝統舞踊／映画について、意見や感想を交換する
	まとめ	2	<ul style="list-style-type: none">・スマート農業／忘れられない経験／ポスターの感想／ドローンの危険性について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを詳しく話して伝え合うことができる

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
家庭総合	AGW科・2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 家庭総合 自立・養成・創造（東京書籍） <input type="checkbox"/> 家庭科学習ノート（熊本県高等学校教育研究会家庭部会編）
-------------	--

科目の目標		
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。</p>	<p>家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p>	<p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・生活に必要な知識や技術を理解し、身に着けることができた。	B 評価の規準 [よく考え、自分の意見を説明できた] ・学習内容に関して自分事としてとらえ、自分の考えを記述したり、発表したりできた。	B 評価の規準 [粘り強く取り組む] ・問いに対して積極的に発言した。 ・忘れ物がなく、授業に真剣に取り組んだ。 ・提出物を期限に遅れず提出できた。
※定期考査、作品、学習プリント、発表、学習の記録、実技試験		※学習プリント、実習の記録 学習、実習への取り組む姿勢
[A 評価] ・家庭生活や地域社会にも目を向け、課題解決のために学習に取り組んだ。 ・学んだことや実習で身に着けたことを家庭で実践できた。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	食生活の課題について考える	4	・青年期の食生活の課題 ・「食べる」とは ・食生活の課題 ・食生活の変化
	食事と栄養・食品	2	栄養と栄養素 炭水化物
5	調理実習①	2	・みたらし団子、いきなり団子（予定）
		7	脂質 たんぱく質 無機質 ビタミン その他の食品
6			
	食品の選択と安全	3	食品の選択 食品の保存と加工 食品の衛生と安全
7	食物調理技術検定 4 級	6	・きゅうりの半月切り ・計量の仕方（計量スプーン・計量カップ）

8	ホームプロジェクト	2	・ホームプロジェクトの実施と発表
9	調理の基礎	3	・調理法や味付けのバランス ・食事の場面を考えた調理 ・野菜の切り方、だしの取り方
	調理実習②	2	・スパゲティミートソース、コンソメスープ (予定)
10	生涯の健康を見通した食事計画	4	栄養バランスのよい食事 食事計画
	調理実習③	2	・親子どんぶり、吸い物 (予定)
11	食生活の文化と知恵	4	・日本の食文化 ・世界の食文化
	調理実習④	2	・包子、清川鶉蛋、棒棒鶏 (予定)
12	これからの食生活	2	・食料生産と食糧問題 ・食の安全性 ・食をめぐる問題とその対策 ・持続可能な食生活
	調理実習⑤	2	・郷土料理講習会 (予定)
	調理実習⑥	2	・ロールケーキ (予定)
1	情報の収集・比較と意思決定	2	・消費生活と意思決定 ・よりよい意思決定のために
	購入・支払いのルール	2	・購入と契約 ・多様化する支払方法
	消費者の権利と責任	2	・消費者の権利を生かす ・社会とつながる消費者
2	生涯の経済生活を見通す	1	・経済的に自立する ・生涯を見通して働く
	家計をマネジメントする	2	・家計の構造を理解する ・家計資産のマネジメント
	これからの経済生活	2	・家計と国民経済・国際経済・地域経済 ・家計が世界を動かす
3	住生活の変遷と住居の機能	3	・住居の機能と変化 ・平面図を理解する ・住居の計画 ・誰もが住みやすい住居とまち
	安全で快適な住生活の計画	2	・住居の防災 ・健康な住生活 ・住みやすさの工夫

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
理数探究	総合ビジネス科・ 農業食品科・ グリーン環境科・ 2年	2	

使用教材	なし
------	----

科目の目標		
<p>様々な事象に関わり、数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を組み合わせるなどして働かせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>様々な事象についての探究などを行うことを通して、探究の意義、探究の過程、研究倫理などの理解を図るとともに、観察、実験、調査等についての基本的な技能、事象を分析するための基本的な技能、探究した結果をまとめ、発表するための基本的な技能などを身に付けさせる。</p>	<p>多角的、複合的に事象を捉え、課題を設定し、数学的な手法や科学的な手法などを用いて、探究の過程を遂行させ、探究した結果などを適切に表現させる。</p>	<p>様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、興味・関心に基づいて課題を設定し、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を身に付けさせる。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
30%	30%	40%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートや課題に対して自ら取り組み、内容を理解したうえで適切な答えを記入することができる。 実験において、仮説を立証するために必要な操作を適切に行うことができる。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[よく考え、意見を持ち、説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察及び実験において、知識や条件をもとに仮説を立て、実験後に考察して結論を出すことができる。 観察及び実験において、探究した結果などを適切に表現できる。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[粘り強さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習活動や実験に真剣に取り組み、安全・スムーズに進むようにするために、仲間と協力し考えながら、仮説を立てたり考察したりすることができる。 <p>[課題に対する調整力]</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間の意見や考えを聞いたうえで、自分の意見や考えに反映させることができる。 <p>※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。</p>
<p>主な評価場面</p> <p>※座学・実験：「知識・技能」 「主体的に学習に取り組む態度」</p> <p>※成果物・発表：「知識・技能」「思考・判断・表現」 「主体的に学習に取り組む態度」</p>		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	探究について	2	<ul style="list-style-type: none"> 探究の意義・過程についての理解
5	物理学実験 化学実験		<ul style="list-style-type: none"> 探究の過程についての理解 実験についての基本的な技能 探究した結果をまとめ、発表するための基本的な技能 数学的な手法や科学的な手法などを用いて、探究の過程を遂行する力
		2	マシュマロタワー
		2	同素体の性質
6	生物学実験	2	葉の断面の観察
	数学実験	2	体育館の屋根の高さを測る

			<ul style="list-style-type: none"> ・調査等についての基本的な技能 ・数学的な手法や科学的な手法などを用いて、探究の過程を遂行する力
	つまようじタワーコンテスト	4	設計図の作成
7	つまようじタワーコンテスト	4	タワー作製
8	つまようじタワーコンテスト	2	タワー作製
9	つまようじタワーコンテスト	8	タワー作製
	つまようじタワーコンテスト	4	タワー作製
10	課題研究	2	<ul style="list-style-type: none"> ・観察，実験，調査等についての基本的な技能 ・事象を分析するための基本的な技能 ・数学的な手法や科学的な手法などを用いて、探究の過程を遂行する力
	課題研究	2	テーマ設定
11	課題研究	2	先行研究調査及び実験計画
		6	実験
12	課題研究	4	実験
1	課題研究	6	<ul style="list-style-type: none"> ・探究した結果をまとめ、発表するための基本的な技能
			まとめ及び発表
2	探究活動	4	チーズ作り・ダイラタンシー
3			

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
総合実習（担い手類型）	農業食品科・2年	4	

使用教材	<input type="checkbox"/> 各専攻で配付されるプリント <input type="checkbox"/> 日本農業技術検定3級テキスト・問題集 <input type="checkbox"/> 農業鑑定競技
-------------	--

科目の目標		
<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった、できた] ・よりよい野菜栽培を実現するための知識を備えている。 ・その時間の実習の目的を理解し、適切な管理実習ができる。 ・黒板・話の内容、自分の感想や疑問点などをメモに残している。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・よりよい野菜栽培について考えることができる。 ・授業や実習を通して疑問を持ち、質問したり記録用紙に記入したりしている。 ・その時間、得た知識や学んだことを説明できる。	B 評価の規準 [気づき、理解しようとする態度] ・座学や実習を通じた気づきがあり、話したり記録したりすることができる。 ・理解するために行動できる（質問する、調べる）。 [実習態度] ・安全に気を付けて取り組むことができる（身だしなみ、返事、声掛け、授業準備等）。 ・丁寧かつ効率よく実習を進めることができる（時間の管理、周囲への配慮、協力等）。
※「知識・技能」、「思考・判断・表現」は、定期考査で主に評価します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
年間	各専攻の科目と関連した栽培・飼育管理	56	各専攻における専門技術総合実習、経営管理総合実習の実施。当番研修への参加（時間外総合実習）
4	学校農業クラブ活動 ・目的及び目標 ・農業鑑定競技	8	○学校農業クラブ各種競技及び学習活動の計画と目標設定
5	プロジェクト学習の実践 ・プロジェクト学習のテーマ設定 ・プロジェクト学習の準備	4	○PDCA サイクルの理解、課題設定によるテーマの決定
	プロジェクト学習の実践	4	○年間を通じた課題解決型学習
6	農業技術検定 ・3級取得のための学習	8	○農業技術検定3級取得のための学習

7	農業技術検定 ・ 3級取得のための学習	4	○テキストを使用し、農業技術検定3級取得のための学習
	プロジェクト学習の実践	4	○年間を通じた課題解決型学習
8			
9	プロジェクト学習の実践	2	○年間を通じた課題解決型学習
	農業技術検定 ・ 3級取得のための学習	2	○テキストを使用し、農業技術検定3級取得のための学習
10	プロジェクト学習の実践	2	○年間を通じた課題解決型学習
	農業技術検定 ・ 3級取得のための学習	2	○テキストを使用し、農業技術検定3級取得のための学習
11	プロジェクト学習の実践	4	○年間を通じた課題解決型学習
	農業技術検定 ・ 3級取得のための学習	4	○テキストを使用し、農業技術検定3級取得のための学習
12	プロジェクト学習の実践	8	○年間を通じた課題解決型学習
1	プロジェクト学習の実践	8	○発表するためのスライドや資料をわかりやすく制作する。
2	プロジェクト学習の実践 ・ 学習成果のまとめ ・ 目標到達度の評価 ・ 年間の学習の振り返り ・ 次年度の課題・目標設定	8	○発表するためのスライドや資料をわかりやすく制作する。
3	プロジェクト学習の実践 ・ 学習成果のまとめ ・ 目標到達度の評価 ・ 年間の学習の振り返り ・ 次年度の課題・目標設定	8	○年間のプロジェクト学習発表を行う。 ○プロジェクト学習のまとめを行う。 ○次年度の課題・目標を設定する。

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
総合実習	農業食品科（食品科学類型）・2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 食品製造（実教出版） <input type="checkbox"/> 日本農業技術検定（全国農業高等学校長協会） <input type="checkbox"/> 配布プリント
------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解することができた。 ・関連する技術を身に付けることができた。 ・農業技術検定3級取得のための入門レベルを理解することができた。	B 評価の規準 [PDCA学習ができた] ・農業に関する総合的な課題を発見することができた。 ・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・班員の意見を取り入れた] ・農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができた。 ・テキストと過去問題集を用いて、自ら学習する態度が身についた。
※定期考査 （1学期末考査、2学期中間・期末考査、学年末考査） ※レポート・実習成果・発表・自学態度・検定結果を主に3観点を評価する。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	農業技術検定3級	2	栽培の基礎について理解することができる
	食品製造実習(まるめクッキー)	2	まるめクッキーの製造ができる
5	農業技術検定3級	2	作物・野菜について理解することができる
	食品製造実習(テーブルロール)	4	テーブルロールの製造ができる
6	農業技術検定3級	2	花き・果樹について理解することができる
	食品製造実習(イチゴジャム)	4	イチゴジャムの製造ができる
7	農業技術検定3級	2	家畜の飼育・農業機械について理解することができる
	食品製造実習(マドレーヌ)	2	マドレーヌの製造ができる
8			
9	農業技術検定3級	2	農業施設・農産物の加工について理解することができる
	食品製造実習(ブルーベリージャム)	4	ブルーベリージャムの製造ができる

10	農業技術検定 3 級	2	農業経営・農業と暮らしについて理解することができる
	食品製造実習(パウンドケーキ)	4	パウンドケーキの製造ができる
11	農業技術検定 3 級	2	過去問題集を解くことができる
	食品製造実習(ハム類)	6	ハム類の製造ができる
12	農業技術検定 3 級	2	過去問題集を解くことができる
	豆類の加工	2	豆類の加工について理解することができる
	食品製造実習(白玉水羊羹)	2	白玉水羊羹の製造ができる
1	いも類の加工	2	いも類の加工について理解することができる
	食品製造実習(スイートポテト)	2	スイートポテトの製造ができる
2	野菜類の加工	2	野菜類の加工について理解することができる
	食品製造実習(白菜キムチ)	2	白菜キムチの製造ができる
	食品製造実習(リンゴケーキ)	2	リンゴケーキの製造ができる
3	果実類の加工	2	果実類の加工について理解することができる
	食品製造実習(アップルパイ)	2	アップルパイの製造ができる

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
農業と情報	農業食品科・2	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 農業と情報（実教出版） <input type="checkbox"/> 補助教材 一新編-情報 I（東京書籍）
-------------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業の各分野における情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について、学校での実習や産業現場での体験を通し、その情報や情報技術を目的や条件に合わせて効果的に使いこなすことができる知識と技術を体系的・系統的に理解し身につけるようにする。	進展する情報社会の特徴や、多様で大量の情報と情報技術が産業社会や人間に与える影響、農業への先進技術や革新技術の活用方法などに関して考察したり、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもち、科学的な根拠などに基づいて効果的に説明したり、創造的に解決する力を養う。	農業情報を活用した事例を基に、環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら、その仕組みや効果について体系的・系統的に理解する大切さについて自覚を深め、また各種の情報の価値を適切に判断し、情報通信ネットワークを活用した情報の収集、情報手段を用いた調査・分析・統合・加工・発信ができる技術の習得に対して、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイピングが正しくできた。 ・学習内容に沿って、情報や情報技術を効果的に使用することができた。 ・課題内容を理解し、課題を解決するための適切な情報や情報技術を使用することができた。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[考えることができた・適切な選択、活用ができた・説明できた]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するために自らの考えを、科学的な根拠を用いて説明できた。 ・仲間と協力して行う課題に対して、仲間の意見を聞き、まとめることができた。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[粘り強さ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に一生懸命に取り組み、仲間と協力して考え、課題を解決する方法を自ら模索しようとしている。 <p>[自らの学習への工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の説明をメモしたり、自分なりにわかりやすいようにまとめるなどしている。また、課題を解決するだけでなく、さらに新たな課題を自ら考え、解決しようとしている。
<p>※ 定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。</p>		<p>※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。</p>
<p>特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5 6 7	データの集計と視覚化	10	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの概要 ・表の作成と表計算 ・さまざまな関数 ・グラフの作成
8 9	データベースシステムとオープンデータ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースソフトウェアの概要 ・オープンデータの利用
10	画像・図形処理ソフトウェアの利用	4	<ul style="list-style-type: none"> ・画像・図形処理ソフトウェアの概要 ・ペイント系ソフトウェアの基本操作 ・画像・図形処理ソフトウェアの応用 ・動画編集ソフトウェアの利用
11 12	プレゼンテーションの概要	5	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの概要 ・プレゼンテーションソフトウェアの基本操作

1 2	情報発信	4	<ul style="list-style-type: none">• Web ページの概要• Web ページの作成準備• Web ページの作成• Web ページの公開• Web ページの評価と改善
3	問題解決の方法	3	<ul style="list-style-type: none">• 問題解決の流れ• 問題の発見と調査• 情報の収集と整理• 解決策の立案

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
作物	農業食品科・2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 作物（実教出版） <input type="checkbox"/> プリント
------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、作物の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・作物の生産と経営について体系的・系統的に理解することができた。 ・生産性や品質の向上に向けた作物の栽培技術を身に付けることができた。	B 評価の規準 [よく考え・意見を持ち・表現することができた] ・作物の生産と経営に関する課題を発見することができた。 ・学んだことや疑問に感じたことなど、自らの考えを言葉や文章で表現することができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・協働することができた] ・作物分野に興味・関心を持ち、学習や研究に意欲的に取り組むことができた。 ・作物の栽培について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう主体的・協働的に取り組むことができた。
※定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	(1) 作物生産の役割と動向	2	○私たちの生活と作物
		2	○作物の生産と消費の現状
			■イネの育苗
5	(2) 作物の特性と栽培技術	6	○作物の生育とその一生
			■イネ田植え
6	(3) イネ	2	○作物の生育のすがた
		4	■イネの栽培
		2	■トウモロコシの栽培
7	ウ 栽培管理	4	○栽培、管理方法
8			■作物の栽培
9	エ 収穫と調製	4	○イネの収穫、調製について
		4	■イネの栽培
10	オ 品質と高価値化	4	○栽培方法による付加価値
		4	■イネの選別

11	カ 生育と収量の診断	2	○収量の診断
		6	■出荷調製
12	キ 農業経営の特性	4	○経営上の特性
		4	○流通と経営
1	(4) 流通とその改善	6	○プロジェクト学習まとめ
		2	○6次産業化について
2	(5) 有機農業の学習	4	○有機農業について
3	栽培計画	4	○次年度の作付け計画

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
野菜	農業食品科・2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 野菜（実教出版） <input type="checkbox"/> プリント
------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・野菜の生産について体系的・系統的に理解することができた。 ・生産性や品質の向上に向けた野菜の栽培技術を身に付けることができた。	B 評価の規準 [考えることができた・適切な選択、活用ができた・説明ができた] ・野菜の生産に関する課題を見つけ、解決するために自らの考えを科学的な根拠を用いて説明・表現ができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・協働することができた] ・野菜分野に興味・関心を持ち、野菜の栽培について、生産性や品質の向上ができるように主体的・協働的に取り組むことができた。
※ 定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	(1) 野菜とプロジェクト学習	2	○プロジェクト学習について
	(2) 野菜生産の役割と動向	4	○野菜生産の役割と動向
	ア 野菜生産の役割		■メロンの栽培（ガラス温室）
5	イ 生活と野菜の利用	8	○野菜の消費
			■メロンの栽培（ガラス温室）
			■果菜類の栽培（露地）
6	ウ 野菜の流通と需給の動向	4	○野菜の生産と供給
			○野菜の安全性
			■メロンの栽培（ガラス温室）
7	(3) 野菜の特性と栽培技術	6	○野菜の種類と特徴
	ア 野菜の種類と特徴		■メロンの栽培（ガラス温室）
			■果菜類の栽培（露地）
8		2	■トマトの栽培（ガラス温室）

9	イ 野菜の生育と生理	8	○野菜の生育と生理
			■トマトの栽培（ガラス温室）
			■スイートコーンの栽培（ビニルハウス）
10	ウ 栽培環境と生育の調節	8	○野菜の栽培環境と生育調節
			■トマトの栽培（ガラス温室）
			■スイートコーンの栽培（ビニルハウス）
11	エ 品種改良と繁殖	8	○育苗の目的と方法
	（4）野菜の栽培と管理・評価		■トマトの栽培（ガラス温室）
	ア 品種の特性と選び方		■スイートコーンの栽培（ビニルハウス）
12	イ 作型と栽培計画	3	○野菜の栽培環境と生育調節
			■ハウスビニルの張替、温室ガラス洗浄
	ウ 栽培管理		○農業生産工程管理（GAP）について
1	エ 商品化と生産物の管理・評価	4	○人工環境における栽培技術
2	オ 機械・施設の利用	2	○野菜の育苗
			■メロンの播種・育苗
3	（5）野菜の生産と経営	2	○野菜の育苗
		2	■メロンの育苗
		2	■果菜類野菜の育苗

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
草花	農業食品科2年	2	

使用教材	草花（実教出版）
-------------	----------

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花の生産と経営に必要な資質・能力を育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。	草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的活用動的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・草花の生産と経営について体系的・系統的に理解することができている。 ・生産性や品質の向上に向けた草花の栽培技術を身に付けることができている。	B 評価の規準 [よく考え・意見を持ち・表現することができた] ・草花の生産と経営に関する課題を発見することができている。 ・学んだことや疑問に感じたことなど、自らの考えを言葉や文章で表現することができている。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・協働することができた] ・草花分野に興味・関心を持ち、学習や研究に意欲的に取り組むことができている。 ・草花の栽培について、生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう主体的・協働的に取り組むことができている。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	草花園芸の特徴	2	草花の生産と経営
	花壇用草花生産の特色	2	花壇用草花の種類
	花壇用草花の栽培（実習）	2	春の花苗栽培（育苗）
5	草花園芸の特徴	2	草花の種類、草花の生産形態
	花壇用草花の栽培（実習）	2	花苗の管理・販売
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（病虫害防除）
6	草花生産と消費の動向	2	生産・消費の動向、流通のしくみ
	花壇用草花の栽培（実習）	2	花壇づくり（春～夏）
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（鉢替え）
7	草花の多面的利用	2	草花利用の意義、草花の利用
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（肥培管理）
8	花壇用草花の栽培（実習）	2	秋の花苗栽培（播種）
9	草花の生育と環境	2	草花の一生、根の成長と養水分の吸収
	花壇用草花の栽培（実習）	2	秋の花苗栽培（育苗）
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（病虫害防除）

10	草花の生育と栽培技術	2	草花の生育と土・水・肥料
	花壇用草花の特色	2	花壇用草花の種類
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（葉組み）
11	草花の生育と栽培技術	2	草花の生育と土・水・肥料
	花壇用草花の栽培（実習）	2	花壇づくり（秋～冬）
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（播種）
12	草花の生育と栽培技術	2	草花の栽培管理
	花鉢もの（実習）	2	プリムラの栽培（鉢上げ）
		2	シクラメンの栽培（育苗）
1	鉢もの生産の特色	2	鉢もの生産の経営、栽培管理の特色
	鉢ものの生産資材と商品化技術	2	鉢の種類、用土、水と肥料
	花鉢もの（実習）	1	シクラメンの栽培（育苗）
2	花鉢もの	2	花鉢ものの種類と特性
	花壇用草花の栽培（実習）	1	春の花苗栽培（播種）
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（鉢上げ）
3	花鉢もの	2	プリムラ類
	花壇用草花の栽培（実習）	1	春の花苗栽培（鉢上げ）
	花鉢もの（実習）	2	シクラメンの栽培（育苗）

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
農業経営	農業食品科（担い手育成類型）・2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 「農業経営」（実教出版）
------	---

科目の目標		
<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

<p>B 評価の規準</p> <p>[わかった・身についた]</p> <p>・農業経営について体系的・系統的に理解することができた。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[よく考え・意見を持ち・表現することができた]</p> <p>・農業経営に関する課題を発見することができた。</p> <p>・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決することができた。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[積極的に行動できた・協働することができた]</p> <p>・農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるように自ら学ぶことができた。</p> <p>・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むことができた。</p>
<p>※「知識・技術」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	日本と世界の農業	4	世界の農業の現状 日本の農業の現状 農業に必要な要素の特性とマネジメント
5	農業経営の動向	2	様々な農業経営 こんにちの農業経営
		1	【グループ討議】 現代日本における農業経営の課題と解決策
	食糧消費の動向と社会経済環境	2	消費者ニーズに沿った農業 食糧需給と貿易
		1	【グループ討議】 現代日本における食料事情の課題と解決策
6	食糧・農業・農村政策と関係法規	4	食糧・農業・農村政策
		2	グローバル化に対応する農政
	農業マネジメント	2	マネジメントの考え方
7	農業マネジメント	2	農業経営の目標
		2	農業の経営戦略
		2	経営者能力
8	農業マネジメント	2	農業経営の情報活用
9	農業マネジメント	2	【調査】篤農家の経営分析（経営戦略）

9	生産のマネジメント	2	単一経営と多角経営
		2	集約化と規模拡大
		2	【グループ討議】 農業経営規模拡大の利点と方法 ※日本の農業の課題を踏まえて
10	組織のマネジメント	2	農業経営の集团的取り組み
		1	農業法人経営
		1	雇用労働力の活用
		2	【グループ討議】 農業法人経営の長所と短所
11	組織のマネジメント	1	農業協同組合
	会計によるマネジメント	1	会計と簿記
		3	資産・負債・純資産と貸借対照表
		3	収益・費用と損益計算書
12	会計によるマネジメント	2	取引と勘定
		2	仕訳と転記
		2	試算表
1	会計によるマネジメント	2	これまでの振り返り
		4	決算
		2	財務諸表分析
2	会計によるマネジメント	2	原価計算
		4	【演習】農業簿記
3	会計によるマネジメント	2	損益分岐図表
		2	1年間のまとめ

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
食品製造	農業食品科・2年 (食品科学類型)	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 食品製造（実教出版） <input type="checkbox"/> 配付プリント
-------------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品製造に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品製造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品製造に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・食品製造について体系的・系統的に理解することができた。 ・関連する技術を身に付けることができた。	B 評価の規準 [PDCA学習ができた] ・食品製造に関する課題を発見することができた。 ・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・班員の意見を取り入れた] ・食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができた。
※定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	食品製造の目的	2	食品衛生と行政
	製造実習	2	まるめクッキー
	製造実習	2	絞り出しクッキー
5	食品製造の意義と動向	2	食品製造の意義
	製造実習	2	まるめパン、ロールパン
	製造実習	2	メロンパン
6	食品製造の意義と動向	2	食品産業の現状と動向
	製造実習	2	パウンドケーキ（共立て法）
	製造実習	2	パウンドケーキ（別立て法）
7	農産物の加工・穀類の加工	2	穀類の種類と特徴・米
	製造実習	2	パウンドケーキ（全卵すり込み法）
8	製造実習	2	マドレーヌ（共立て法）
9	農産物の加工・穀類の加工	4	小麦
	製造実習	2	マドレーヌ（別立て法）
10	食品の変質と貯蔵	4	食品の変質とその原因、食品の貯蔵法
	製造実習	2	シフォンケーキ
11	農産物の加工・穀類の加工	4	パン・菓子類
	製造実習	2	シュークリーム
12	製造実習	2	スポンジケーキ

	製造実習	2	デコレーションケーキ
1	農産物の加工・穀類の加工	2	めん
	製造実習	2	うどん
	製造実習	2	大福
2	食品加工と食品衛生	4	食品と食品衛生、食中毒
3	製造実習	2	ゼリー（寒天、ゼラチン）
	製造実習	2	プリン

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
食品化学	農業食品科（食品科学類型）・2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 食品化学（実教出版） <input type="checkbox"/> 配布プリント
------	--

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品の成分と栄養価値の利用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品化学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品化学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品化学について食品の成分と栄養を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・食品化学について体系的・ 系統的に理解することができ た。 ・関連する技術を身に付ける ことができた。	B 評価の規準 [わかった・身についた] ・食品化学について体系的・ 系統的に理解することがで きた。 ・関連する技術を身に付け ることができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・班員の意見を 取り入れた] ・食品化学について食品の成分と栄 養を理解し、農業の各分野で応用でき るよう自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的か つ協働的に取り組む態度を養うこと ができた。
※定期考査 （1学期期末考査、2学期中間・期末考査、学年末考査） ※レポート・実験成果・発表を主に3観点を評価する。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時 数	学習項目
4	食品化学の領域	2	「食品化学」の学習の内容と進め方について理解 することができる
	食品化学と食品製造	2	食品化学と食生活について理解することができる
5	食品の成分分析の意義	2	実験の心構えについて理解することができる
	食品の成分分析の意義	4	実験器具と様々な溶液の作り方ができる
6	食品の成分	2	食品成分の分類と働きについて理解することがで きる
	水分	2	水分の性質について理解することができる
	水分の定量	2	水分の定量実験ができる
7	無機質（ミネラル）	2	無機質の性質について理解することができる
	灰分の定量	2	灰分の定量実験ができる
8			
9	タンパク質	4	タンパク質の性質について理解することができる
	タンパク質の定性実験	2	ビュレット反応実験ができる

10	タンパク質の定性実験	2	キサントプロテイン反応実験ができる
	タンパク質の定性実験	2	硫化鉛反応実験ができる
	タンパク質の定量実験	4	アミノ酸態窒素の定量実験（ホルモル法）ができる
11	炭水化物	4	炭水化物の性質について理解することができる
	炭水化物の定性実験	2	フェーリング反応実験ができる
12	炭水化物の定性実験	2	銀鏡反応実験ができる
	炭水化物の加水分解	2	非還元糖の加水分解実験ができる
1	炭水化物の定量実験	4	還元糖の定量実験（ソモギー変法）ができる
2	酸と塩基	2	酸と塩基の性質について理解することができる
	酸と塩基の試薬調整	4	中和滴定実験ができる
3	有機酸の定量実験	2	クエン酸の定量実験ができる
	有機酸の定量実験	2	乳酸の定量実験ができる

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
食品微生物	農業食品科・2年 (食品科学類型)	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 食品微生物（実教出版） <input type="checkbox"/> 配付プリント
-------------	---

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品微生物の利用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品微生物について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品微生物に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を養う。	食品微生物について特質を理解し、農業の各分野で利用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・食品微生物について体系的・系統的に理解することができた。 ・関連する技術を身に付けることができた。	B 評価の規準 [PDCA学習ができた] ・食品微生物に関する課題を発見することができた。 ・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・班員の意見を取り入れた] ・食品微生物について特質を理解し、農業の各分野で利用できるよう自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができた。
※定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	人間生活と微生物	6	微生物を学ぶにあたって、生活環境と微生物
5	人間生活と微生物	6	食品と微生物、食品微生物とプロジェクト学習
6	微生物の種類と特徴	8	微生物の種類、微生物の生育環境、微生物の遺伝
7	微生物の観察と取り扱い	4	微生物実験の基本
8	微生物の観察と取り扱い	2	微生物の分離と培養
9	微生物の観察と取り扱い	2	微生物の観察
	かびの分離と培養	6	クエン酸生産かびの分離と培養
10	かびの分離と培養	8	クエン酸生産かびの分離と培養
11	かびの分離と培養	6	クエン酸生産かびの分離と培養
12	かびの分離と培養	6	酵素生産かびの分離と培養
1	かびの分離と培養	6	酵素生産かびの分離と培養
2	かびの分離と培養	6	きのこの栽培
3	かびの分離と培養	4	きのこの栽培

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
食品流通	農業食品科・2年 (食品科学類型)	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 食品微生物（実教出版） <input type="checkbox"/> 配付プリント
-------------	---

科目の目標		
農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品の流通とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品流通について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品流通に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・身についた] ・食品流通について体系的・系統的に理解することができた。 ・関連する技術を身に付けることができた。	B 評価の規準 [P D C A学習ができた] ・食品流通に関する課題を発見することができた。 ・農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことができた。	B 評価の規準 [積極的に行動できた・班員の意見を取り入れた] ・食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるように自ら学ぶことができた。 ・農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができた。
※定期考査では、主に「知識・技能」「思考・判断・表現」を判断します。		
顕著な成果・内容の場合はA評価とし、成果・内容が不十分な場合はC評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	「食品流通」を学ぶにあたって	4	食品流通とプロジェクト学習
5	現代社会と食品流通	6	流通の始まりと発展
6	現代社会と食品流通	8	流通の働き、食品流通の役割
7	経済活動と食料	6	経済の発展と食料消費、世界の食料事情
8	経済活動と食料	2	日本の食生活
9	経済活動と食料	6	食料需給と自給率、 私たちがとりまくフードシステム
10	食品流通のしくみと働き	8	食品流通の特徴、食品流通のしくみ
11	食品流通のしくみと働き	6	価格の形成と流通経費
12	おもな食品の流通	6	米の流通、麦の流通
1	おもな食品の流通	6	青果物の流通
2	おもな食品の流通	6	畜産物の流通
3	おもな食品の流通	6	加工食品の流通

令和7年度 熊本県立阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
ビジネス基礎	総合選択2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 ビジネス基礎（実教出版） <input type="checkbox"/> ワークブック ビジネス基礎準拠問題集（実教出版） <input type="checkbox"/> 検定問題集 全商商業経済検定模擬試験問題集（実教出版）
------	--

科目の目標		
<p>商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力と次のとおりにより育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。</p>	<p>ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決ことについて考えている。</p>	<p>ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [理解できた・完成した] ・【ワークブック】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している。</u>	B 評価の規準 [発展した学習によく考え、取組み、説明できた] ・【設問】や【テレビ学習】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを発表できている。</u> ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、ネット副教材にじっくり取り組むことができる。 [自分なりの工夫] ・自分の到達目標を決め、予習復習、進んだ学習ができている。商業経済検定3級は全員受験。マーケティング2級は、問題集を各自購入し、11月から独学です。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1章 商業の学習とビジネス	1	商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解します。
	1. いざ、ビジネスの世界へ	2	ビジネスの役割について、企業の社会的責任や、環境、エネルギー、食料などの社会的な課題及びビジネスの動向・課題について具体的な事例と関連付けて学びます。
	2. 私たちの社会とビジネス	2	実践する力、職業人として必要な豊かな人間性、他者と協働する力を身に付けます。
5	第2章 ビジネスとコミュニケーション	2	ビジネスにおける信頼関係構築の意義と重要性を学びます。
	1. コミュニケーション		
	2. ビジネスマナー		
	3. 情報の入手と活用		

		2	ビジネスマナーの意義を理解し、場面に 応じて考え、活動できる力を身に付けま す。
6		2	企業活動における情報の重要性を理解 し、情報活用及び評価・改善を行います。
	第3章 経済と流通の基礎 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通	1	経済の仕組みと流通の必要性について理 解します。
		2	経済の基本概念、流通の役割など経済と 流通に関する知識を基盤として、流通に関 する課題を発見し、その解決方法を考えま す。
7		3	流通を支える組織の一員としての役割を 果たすことができる力を身に付けます。
	第4章 さまざまなビジネス 1. ビジネスの種類 2. 小売業 3. 卸売業 4. 金融業 5. 情報通信業	2	ビジネスの種類について理解し、流通や 流通に関わるビジネスについて学びます。
8		2	流通や流通に関わるビジネスに関する知 識を基盤として、流通や流通に関わる様々 なビジネスに関する課題を発見し、その対 応策を考えます。
9		3	流通や流通に関わる組織の一員としての 役割を果たすための力を身につけます。
	企業活動の形態と組織、マーケテ ィングの重要性と流れなど企業活動 に必要な知識を学びます。	2	企業活動の形態と組織、マーケティング の重要性と流れなど企業活動に必要な知識 を学びます。
10		3	企業活動に関する知識を基に、企業活動 の動向など、企業活動に関する課題を発見 し、その対応策を考えます。
		2	企業活動の展開について、組織の一員と しての役割を果たすことができる力を身に つけます。
11	第6章 ビジネスと売買取引 1. 売買取引の手順	3	売買取引、代金決済など取引に関する知 識や技術を学びます。

	2. 代金決済		
		2	取引に関する知識や技術を基に、実務における取引に関する課題を発見し、その対応策を考えます。
12		2	契約の履行と締結について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。
	第7章 ビジネス計算 1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用	1	ビジネス計算に関する知識や技術を学びます。
		2	ビジネス計算について学び、その知識と技術で組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。
1		2	
	第1章から第3章までのまとめ	2	第1章から第3章までの総まとめ、復習、そして新たな展望を切り開くため、学習のおさらいを行います。
		1	
2	第4章から第7章までのまとめ	5	第1章から第7章までの総まとめ、復習、そして新たな展望を切り開くため、学習のおさらいを行います。
3	第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域ビジネスの動向	1	さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について学びます。
			ビジネスの振興による地域の発展について、組織の一員としての役割を果たすことができる力を身につけます。